

SDGsをどう実現



トークセッションで、SDGsの取り組みについて意見を述べる学生

京都

青森県とリコー ジャパン青森支社は21日、幅広い世代にSDGs(持続可能な開発目標)の取り組みを学んでもらおうと、「県SDGsフォーラム2021」を青森市で開いた。県内の高校生と大学生がSDGsの実現に向けたアイデアを発表したほか、「クイズ王」として活躍する伊沢拓司さんを講師に迎え、学生と意見を交わすトークセッションも行った。(里村静)

上沢さん(八戸東高)、白田さん(八学大)ら意見交換

県などは10、11月に地元3紙の新聞記事を基にしたSDGsの取り組み案を、県内の高校生や大学生から募集。個人と団体から計48件の応募があった。フォーラムでは、特徴的な案を提案した県立八戸東高2年の上沢穂乃花さんと、八戸学院大1年の白田環暉さんのほか、2団体が発表した。

上沢さんは、県のお土産品などを平日限定で販売する自動販売機のアイデアを提案。「稼働を平日に限定することで、二酸化炭素の排出量を軽減できる。他地域へのPRにもつながる」と話した。

トークセッションでは、学生がお互いの案について意見交換。伊沢さんは「隣の人が、どうしたら地球環境のために動いてくれるか考えることが解決の近道。今後一步一步、自分ごと、化してほしい」と呼び掛けた。